



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



一般社団法人地域連携ネットワークみえ

三重県伊勢市御薮町長屋1963
(株)エホ・ソリューション内 (☎0596-63-5080 FAX0696-65-7006)
E-mail info@3c-mie.net <https://3c-mie.net/>



5月の誕生花の一つにハナショウブがあります。そしてハナショウブは、三重の県花として昭和44年9月に指定されています。初夏に紫色や白、薄紅の花を咲かせ、桑名市の九華公園や明和町の斎王の森、伊勢神宮の勾玉池などで見られます。花言葉は「忍耐」とか「熱心」と言われています。

5月8日からコロナ感染症は、5類に引き下げられ、人々の忍耐の日々は緩和されたかのように見えますが、世界の中では自国内の紛争で生きるために必至になっている報道が毎日のようにあり、もう忍耐という言葉では済まされないでしょう。

紛争から逃れ避難しても食料が無い。異常気象、ウクライナ侵攻をはじめ地球規模の大問題が立て続けに起きている今、世界の飢餓人口が急増しており、日本でも食料価格高騰の影響が及んでおり、食料危機は決して遠い国の話ではなくなってきています。

今回は、食の生産を担う農林水産業を支援する「三重県農林水産支援センター」からの投稿をご紹介します。

三重県農林水産支援センター ってご存じですか？

こんなことやってます！【法人の目的】

公益財団法人三重県農林水産支援センターは、県内の農林漁業の担い手の確保・育成を図るとともに、農林漁業経営体の経営の合理化や就業環境の改善並びに経営基盤の強化、併せて農林水産物の流通、加工及び利用の増進、改善を図ることにより、本県の農林水産業及び農山漁村の安定的かつ健全な発展を通じて、県民の皆様の生活の向上に資することを目的としています。

センターには、農林水産業の担い手の確保・育成や「みえの安心食材表示制度」の認定・審査を行う「総務・担い手支援課」、農地中間管理機構として農地の集積・集約を行う「農地中間管理課」、農林水産事業体の経営支援を行う「経営支援PT」を配置し、以下の業務を担っています。

@ 総務・担い手支援課

公益財団の管理・運営

理事会や評議員会の運営事務、公益財団の管理・運営や公益財団全般にかかる業務を行っています。

農林漁業の担い手の確保・育成

農林漁業の将来を考え、それぞれの産業に就きたい方を確保・育成するため、各種事業を実施し、就業・定着に向け支援しています。

- 就業・就職相談の対応(常時)
- 農林漁業就業・就職フェア(相談会・セミナー)の開催
- 厚生労働省許可(24-ム-300001)の無料職業紹介所の開設

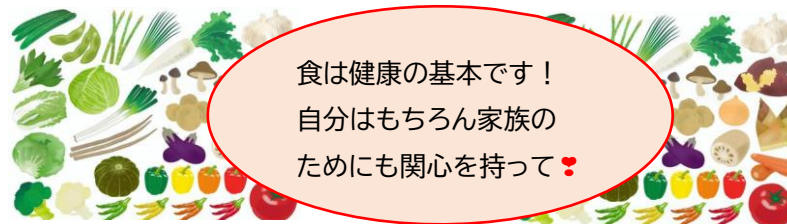


魅力ある一次産業で食だけでなく地域で暮らす環境を守っていく人々を支援！

みえの安心食材表示制度の認定・審査

三重県が実施する「人と自然にやさしいみえの安心食材表示制度」の認定・審査機関として、現地調査や表示認定を行ない、安心食材を提供する生産者の皆さんを応援しています。

- 農業軽減等の現地調査の実施
- 認定マークの発行(販売)



食は健康の基本です！
自分はもちろん家族のためにも関心を持って！



@ 農地中間管理課

農地の集積・集約化

担い手農家等が生産性の高い農業経営をめざすための、経営規模の拡大や農地の集団化につながる農地集積・集約の取組みを支援しています。

- 農地中間管理機構業務(農地の貸借による中間保有・再配分)の実施
- 農地売買による担い手農家等への農地集積・集約の支援
- 企業の農業参入相談対応

農業を維持していくには他の産業と同じように作業の効率化や合理化が求められます。そこで年々機械化やスマート化が進められていますが、耕作農地が小さいとそれができません。農地の集積や集約は、地域の食と環境を守るために大切な取り組みです。

@ 経営支援プロジェクトチーム

経営発展支援

農林漁業事業体が抱える様々な経営課題に対応した支援を通じて、さらなる経営発展に向けた支援を行っています。

- 農林漁業事業体の経営課題に応じた専門家派遣や研修会の開催



支援センターの新たな取り組み

農園主は経営者であり社長です！

みえ農業経営社長塾サロン講座

2023年10月講座開講予定!

本県においては、新規就農者のうち法人等へ就業する者の割合が高く、農業の重要な担い手となっています。そこで、将来にわたって継続的に多くの雇用を受け入れられる企業的な経営を行うトップクラスの経営者を増やしていくため、それぞれの発展段階に応じて、トップクラスの経営者から直接、経営の哲学や理念を学び、人脈を広げていく場として、「みえ農業経営社長塾」を開催しています。

<2022年度みえ農業経営社長塾 サロン型講座 開催概要>

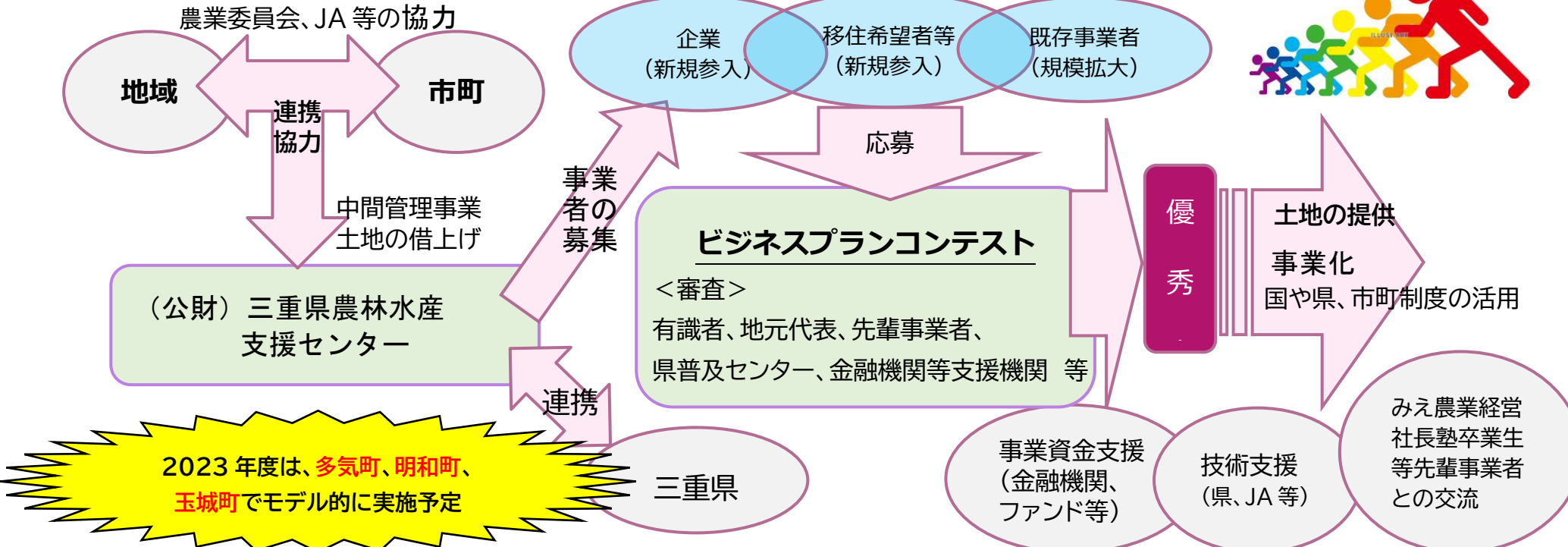
	各クラス合同開催	発展クラス単独開催
サロン①	日時 令和4年11月2日(水) 午後2時～午後5時 場所 三重県農業大学校 大教室 第1部 講演 「三重県農業の将来性と経営者理念とビジョン」 講師 三重大学大学院地域イノベーション学研究科 教授 西村 訓弘 氏 事例報告1 「農業経営に必要な経営理念とビジョン、そして心構え」 講師 株式会社浅井農園 代表取締役 CEO 浅井 雄一郎 氏 事例報告2 「有限会社深緑茶房のお茶や地域への熱い思い」 講師 有限会社深緑茶房 代表取締役 松倉 大輔 氏 第2部 名刺交換会 安定クラス単独開催	日時 令和4年11月28日(月) 午後2時～午後5時 場所 三重県農業大学校 大教室 第1部 講演1 「農業経営における経営戦略の重要性について」 講師 一般社団法人三重県中小企業診断協会 会長 井上 俊一 氏 事例報告1 一株万粒 ～人を育てることが最大の結果に～ 講師 有限会社木曾岬農業センター 代表取締役社長 古村 精康 氏 講演2 「伊勢から世界へ」 (講師プロフィールはサロンの参照) 講師 伊勢角屋麦酒 二軒茶屋餅角屋本店 代表取締役社長 鈴木 成宗 氏 事例報告2 「農産物の特徴づくりと販売戦略」 講師 株式会社ボモナファーム 代表取締役 CEO 豊永 翔平 氏 第2部 意見交換会 各クラス合同開催
サロン②	日時 令和4年11月21日(月) 午後2時～午後5時 場所 三重県農業大学校 大教室 第1部 講演 「伊勢から世界へ」 講師 伊勢角屋麦酒 二軒茶屋餅角屋本店 代表取締役社長 鈴木 成宗 氏 事例報告1 「マーケットや顧客を意識した商品づくり」 講師 サノ・オーキッド 代表 佐野 拓也 氏 事例報告2 「マーケットインに取り組む販売戦略」 講師 株式会社かきうち農園 代表取締役 垣内 清明 氏 第2部 意見交換会	日時 令和5年1月25日(水) 午後5時～午後8時 場所 三重県農業大学校 大教室 第1部 講演1 「農外から見た農業の「ここが魅力」 講師 株式会社フジ技研 取締役常務 鏡谷 有紀 氏 講演2 「小売事業者から見た魅力ある農産物」 講師 マックスバリュ東海株式会社 執行役員 営業本部第一事業部長 藤本 友也 氏 講演3 「儲かる農業の実現に向けたスマート農業システム開発の取り組み」【仮題】 講師 株式会社クボタ 機械研究開発第四部 部長 早川 義人 氏 第2部 意見交換会

みえ農業スタートアップ支援事業

2023年12月コンテスト開催予定!

農業の現場では、担い手の高齢化等により農業離れが進む一方で、異業種の参入や企業型経営体が増加し、若い世代を取り込む受け皿になりつつあります。しかしながら、企業や移住希望者等が県内に新規に農業参入するうえで優良な農地の確保が大きな課題となっています。そのため、農地の賃借を調整する農地中間管理事業を活用し、あらかじめ地域の合意を得て優良農地を確保した上で、農業ビジネスプランコンテストを行い、優秀プラン提案者に対して優先的に農地を貸し出すことで、企業の農業分野への新規参入や移住促進等につなげます。

<事業スキーム>



三重県農林水産支援センターへのアクセス&お問い合わせ

公益財団法人 三重県農林水産支援センター TEL:0598-48-1225(代) E-mail:info@aff-shien-mie.or.jp
 〒515-2316 三重県松阪市嬉野川北町530番地 FAX:0598-42-8221 センターHP:https://www.aff-shien-mie.or.jp/

<事務局からのお知らせ>

～地域連携ネットワークみえ活動報告会のご案内(リマインド)～

日時:令和5年6月10日(土)
 13:30 開場/受付
 開場:エビイロ(伊勢門本店 横)
 津市栄町 3-222 ソジアビル1階

第1部 講話 14:00～
 テーマ「地域に根差した経営と活動」
 講師 ぎゅーとら株式会社
 代表取締役社長清水秀隆氏

第2部 懇談会 16:30～
 会費 5,000円
 ビッフェ方式でお食事をしながら地域の課題や実態、対策などをフリートークで!



↑参加はこちらから